

アスパラによきによき本州No.1運動

～早期出荷で外国産からのシェア奪取～

資材価格の高騰や気候変動による収量の減少、デジタル技術の進展などアスパラガスの取り巻く情勢が大きく変化している中、本県アスパラガスを持続的に発展させていくため、生産者、関係団体、行政が一体となった運動を令和6年10月から開始しました。

【目指す姿】

アスパラガス産出額：17億円（R4）⇒26億円（R9）

対策1 単収向上

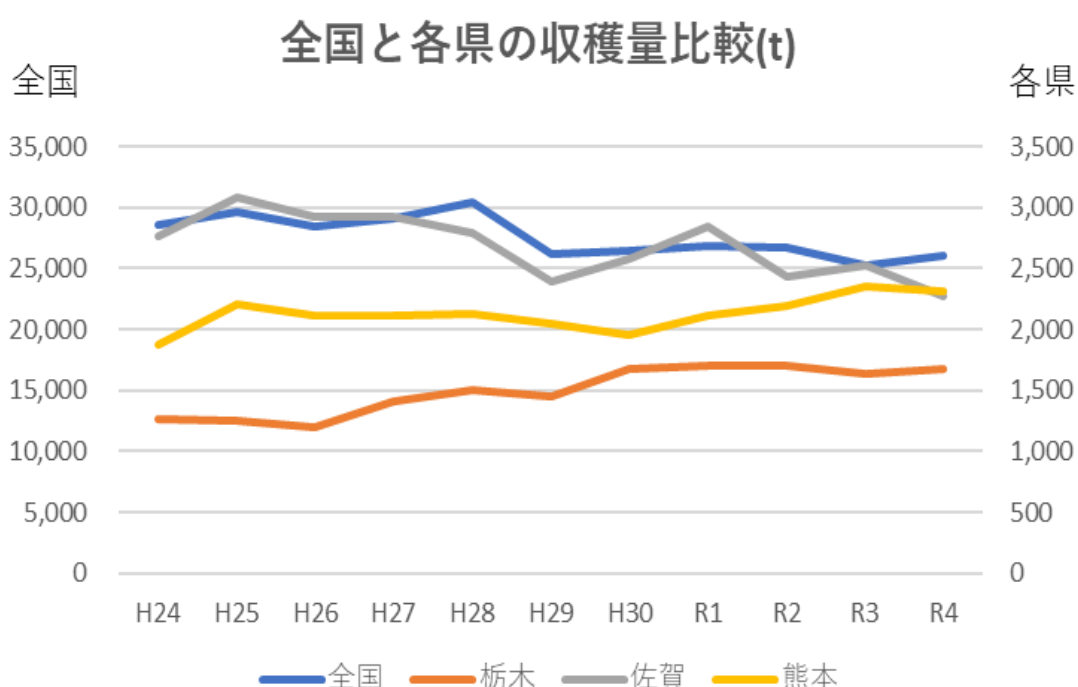
- ウォーターカーテンや伏せ込み栽培など作期の前進化を支援します
 - 気候変動に対応する技術実証・導入を支援します
- ほか

対策2 生産面積の拡大

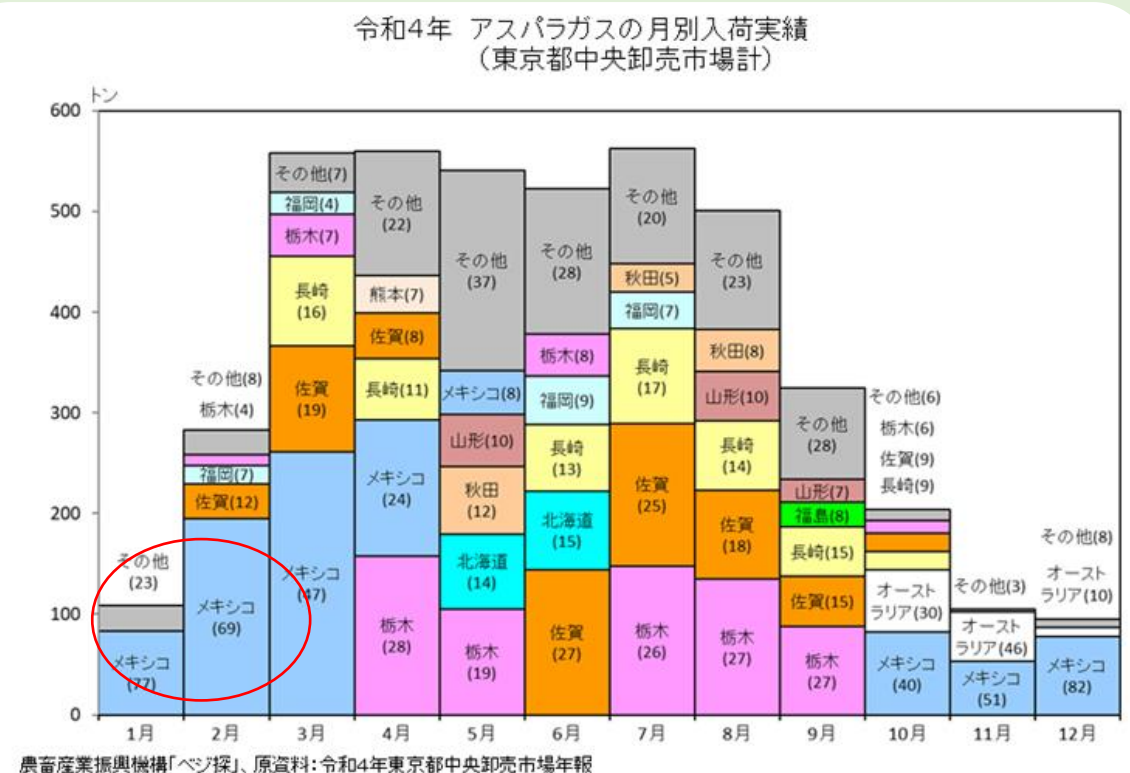
- 産地の核となる集出荷施設とハウスの導入を併せて整備支援します
- ほか

対策3 販売単価の向上

- 首都圏における「アスパラガス＝栃木」のイメージ定着に向けたPRを実施します
- ほか



全国で収穫量は減少しているが、栃木は増加



単価が高い1～3月は外国産が多い

本資料の問い合わせは農業振興事務所または栃木県生産振興課いちご野菜担当（連絡先：028-623-2328）まで